

議 事 録

町田商工会議所

作成者：指導課 三堀

会議名	令和2年度町田商工会議所 経営発達支援計画評価会議	
開催日時	令和3年2月24日(水)	13:00~14:15
開催場所	町田商工会議所1階会議室(対面)またはWEB(オンライン)	
出席6人 (順不同・敬称略)	(対面3名)前田進、猿山康継、佐藤正志(オンライン3名)福島昭宏、朽木雄介、竹中圭二 / (事務局3名)関俊雄、日下啓太、三堀陽平	

議 事 内 容	<p>1. 開会(司会:三堀)</p> <p>2. 委員長挨拶 ・(株)マネジメントコア前田の前田進委員長から挨拶</p> <p>3. 自己紹介 ・2期目(R2.4~R7.3)を迎える経営発達支援計画について、1期目(H27.11~R2.3)に務めていなかった(今回初めて参加する)方がいたため、参加者全員による簡単な自己紹介を行った。</p> <p>3. 議題 (1) 経営発達支援計画について ・昨年7月の小規模事業者支援法改正により、経営発達支援事業(経営の発達に資する支援)を行うことが強く求められるようになり、そのなかでの評価会議の存在意義について資料を基に事務局から説明。</p> <p>(2) 令和2年度実施状況について 【事務局】 ・実績一覧表を基に実施内容を(特に今年度トピックスとして次の①②③は詳細に)説明。 ①「RESASや町田市等計画の活用」…資料(町田市経営診断協会によるレポートまとめ)に基づいた町田市の産業特徴の報告。 ②「対象事業者の掘り起こしのための経営分析」…今後の経営分析の基となるデータ185件のシステム登録(外部委託)。 ③「事業計画策定支援」…コロナ禍で小規模事業者持続化補助金の申請受付回数が11回設けられたことが、事業計画策定数を大きく伸ばす結果になった。 ・事業内容の達成度合をわかりやすく表現するため、達成割合に準じてA~D評価方式(案)で表現したことを委員に説明。数多くの他商工会・商工会議所の評価基準と同じ方式であり、中小企業庁に端を発する基準と思われるため信頼性は高いため、当該方式で進めることとなった。</p> <p>【委員】※実施内容についてのコメント ・昨年全職員で行った1,000件電話ヒアリング(景況調査アンケートなど)を実績に反映してはどうか。コロナ禍のため、事業計画以外についても実績にあげてもよいと思われる。 ・目標件数はコロナ禍以前に設けた数にも関わらず、異常事態のなか概ね目標達成できている点は評価できる。</p>
------------------	---

- ・需要動向調査や新たな販路開拓支援については、世の中が変わってきていることを踏まえて、特に注力していく支援内容である。
- ・需要動向調査や新たな販路開拓支援が飲食サービス業に限定しているが、地域経済動向調査から町田市は身の回り品小売業（物販）が多いと見受けられるため、今後の支援対象に入れることも検討すべき。
- ・コロナ禍により、事業策定支援を皮切りに商工会議所を利用する方が増えたと推測される。非会員にも商工会議所を知ってもらう機会になり、商工会議所と事業者との“基盤づくり”が整われるかたちとなったのではないかな。
- ・コロナ禍で相談件数が増え、職員の支援スキル向上が図られたのではないかな。今後も期待したい。
- ・経営改善普及事業（融資斡旋等）が新型コロナウイルス感染症の対応で優先され、経営発達支援事業（販路開拓等）の目標達成には貢献しなかったということであるが、求められる事業所支援を行ったためであり評価されないのはもったいない。事務局評価を1つ引き上げるべき。

【オブザーバー】

- ・町田市中小企業者家賃補助金の実施は事業者から好評であった。また、12～1月で実施した「キャッシュレス決済プレミアムポイント事業」は事業者のキャッシュレス活用の推進を図るものとなった。

4. 閉会（事務局）

次回会議

未定